

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●サマー2000シリーズはヴェローチェエラが優勝

今年のサマー2000シリーズは全5戦が終了し、第1戦・函館記念(GⅢ)で1着、第4戦・札幌記念(GⅡ)と第5戦・新潟記念(GⅢ)では5着となり、計15ポイントを獲得したヴェローチェエラ(牡4歳／栗東・須貝尚介厩舎)がチャンピオンに輝きました。

●夏の新潟リーディングは戸崎騎手、中京は松山騎手

8月31日(日)をもって夏の新潟競馬・中京競馬が終了し、新潟では2回・3回開催で計18勝をあげた戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)が、中京では3回・4回開催で計15勝をあげた松山弘平騎手(栗東・フリー)が、それぞれ開催リーディングジョッキーとなりました。

●和田翼騎手が引退

和田翼騎手(栗東・谷潔厩舎)から騎手免許の取消申請があり、9月3日(水)付で引退しました。JRA通算成績は3279戦123勝でした。

●第15回ジョッキーパーティ東北・新潟地区代表が決定

8月24日(日)、全国ポニー競馬選手権[第15回ジョッキーパーティ]の東北・新潟地区代表決定戦が福島競馬場で実施され、岡崎絢心さん(中学1年生)が同地区代表に決定しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●不来方賞(盛岡)でナルカミが人気に応じて重賞初挑戦で初制覇

不来方賞(JpnⅡ、3歳、9月2日、盛岡、2,000円)は、出遅れて200円余り走ったところで先頭を奪った単勝1.7倍で断然人気のナルカミ(戸崎圭太騎手、牡、父サンダースノー)が、ハグに2馬身半差を付けて優勝。2番人気のメイショウズイウンが3着、ロードラビリンスが4着、3番人気のルヴァンユニベールが5着と、5頭出走したJRA所属馬が上位を独占しました。

●3歳馬ヤマニンチェルキがサマーチャンピオンでJpnⅢ連勝

サマーチャンピオン(JpnⅢ、9月4日、佐賀、1,400円)は、3番手前後を追走した2番人気のヤマニンチェルキ(岩田望来騎手、牡3歳、父フォーウィールドライブ)が、先に抜け出した1番人気のエンペラーウケアをゴール寸前で捉えて北海道スプリントCに続くJpnⅢ2連勝。逃げたハッピーマンは4着、3番人気のクロジジョーは7着、エイシンワンドは最下位の10着でした。

●北海道のビッグカレンルーフがすずらん賞(札幌)に優勝

すずらん賞(2歳オープン、8月30日、札幌、芝1,200円)に5番人気で出走した北海道所属馬ビッグカレンルーフ(牝、父アメリカンペイトリオット)は、後ろから2頭目という位置から追い上げてゴール前で差し切り、2022年のすずらん賞のコスモイグローク(北海道)以来、3年ぶりとなる地方馬によるJRA勝利を達成しました。

●盛岡芝のジュニアGPはセイクリスティーナ【各地の2歳重賞】

ジュニアグランプリ(8月19日、盛岡、芝1,600円)は、4番手を進んだ1番人気の地元馬セイクリスティーナ(牝、父タリスマニック)が残り50円で最内から抜け出し、若鮎賞に続いて芝の重賞を連勝しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1パシフィッククラシック〜フィアースネスがG1・4勝目

現地8月30日にアメリカ・カリフォルニア州のデルマー競馬場で行われたG1パシフィッククラシック(3歳上、ダート2,000円)はJ. ヴェラスケス騎手が手綱を取ったフィアースネス(牡4歳、父シテリオブライト、T. プレッチャー厩舎)が優勝しました。最内枠からスタートした同馬はスタート後すぐに左によれて内ラチにぶつかりそうになる場面がありましたが、すぐに立て直して中団につけると、3コーナー手前からロングスパート。最後方から追い込んだジャーナリズム(G1サンタアニタダービー馬)に3馬身1/4差をつけました。勝ったフィアースネスはこれで2歳時のブリーダーズCジュベナイル(ダート1,700円)、昨年フロリダダービー(ダート1,800円)、トラヴァーズS(ダート2,000円)に続くG1・4勝目。今年は初戦となった5月のG2アリシーバS(ダート1,700円)こそ制しましたが、その後はG1メトロポリタンHが2着、前走のG1ホイットニーSも5着に終わっていました。

●G1ジョッキークラブGC〜アンティークエリアンがG1初制覇

8月31日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ジョッキークラブゴールドC(3歳上、ダート2,000円)はアンティークエリアン(牡4歳、父ブリザヴェーションスト)が4番手追走から直線で抜け出して優勝しました。J. ヴェラスケス騎手とT. プレッチャー調教師は上記パシフィッククラシックに続く連日のG1制覇となりました。1馬身半差の2着に昨年の米最優秀3歳牡馬シエラレオーネ。G1のチャーチルダウンズSとステイブンプォスターSを連勝中だったマインドフレームはスタート後すぐに他馬にぶつけられて騎手が落馬し、競走を中止しました。勝ったアンティークエリアンはこれがG1初制覇です。